

WAJICO

コミセンであなたと、「つながる」

04

2014 WINTER

コミセンわじろ 情報誌「ワジコ」 季刊誌

index

- わじろ元気印/ 団体紹介 ————— P02
- TOPICS ————— P04
- わじろ自慢 ————— P03
- HOW TO ————— P04
- 教えて！相談員マン ————— P03

第四回 わじろで第九を歌おう！

「コミセンまつり」開催のお知らせ！

第三回「早魚神事」

かしこく上手に使っちゃおう！コミセン活用術 市民ギャラリー編



表紙写真：「わじろで第九を歌おう！」&福岡工業大学吹奏楽団 ジョイントコンサートの様子(昨年度)

TOPICS

「コミセンまつり」開催のお知らせ！

2014年2月15日、和白5校区の新しいお祭り「コミセンまつり」が開催されます！

和白5校区がつながる、新春のおまつり

和白5校区(和白、美和台、和白東、奈多、三苦)の自治協議会や公民館のみなさんが中心となり、地域交流会「コミセンまつり」が2月に当館にて開催されます。

5Fの多目的ホールでは、5校区の公民館やコミセンわじろで活動されているサークルさんが、日頃の活動の成果を発表・展示します。地域の元気の素であるみなさんの活動をご覧ください。4F図書館では絵本の読み聞かせや紙芝居などの『おはなし会』、3F体育館では誰でも参加できるゲームやニュースポーツの『レクレーションイベント』なども実施されます。2月15日はご家族、ご友人をお誘い合わせの上、コミセンわじろにぜひともお越しください！



▲参加者のみなさんと会場チェック中！

【開催日時】2014年2月15日(土)9:45～16:00 ※開場9:30 【会場】コミセンわじろ(和白地域交流センター)

【主催】コミセンまつり実行委員会 【お問合せ】コミセンまつり実行委員会事務局(コミセンわじろ内) ☎092-608-8480(担当:奥村)

▶出演サークルやプログラムについては、コミセンわじろのfacebookにて紹介していきます！ www.facebook.com/komisenwajiro をチェック！

HOW TO

かしこく上手に使っちゃおう！コミセン活用術

地域の皆様の「こんな風に使いたいなあ」というニーズに真剣にお答えします。

市民
ギャラリー編

団体やサークルでつくった作品を、コミセン利用者のみなさんにお見せしちゃいましょう！

コミセンわじろでは、第2会議室前の掲示スペース、休憩ロビー横の壁面などを「市民ギャラリー」として活用し、市民の方々、地域のみなさんが一生懸命思いを込めてつくった作品を展示しています。展示作品をじっくりとご覧になる方も多く、「どなたがつくられているんですか？」「この技術を習うことはできますか？」などのお問合せをよくいただきます。可能であれば団体さんや作家さんに紹介するなど、作品がつながり新しい輪も生まれています。「作品を見ていただきたいなあ」とお考えのみなさま、団体でも個人でもOKです。展示は無料ですので、興味のある方は地域相談員がスタッフにまでご相談ください。

※貴重な作品は預かれない場合があります。展示期間は基本1ヶ月程度です。

ここが
ポイント

1. アマチュア大歓迎！ 2. 活動の広報にもなる！



コミセンわじろ WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



「早魚神事」のココが自慢だ！

- ◎千年の歴史を持つと言われていること
- ◎地域の若者による勇壮な神事であること
- ◎さまざまな世代が集う祭りであること

奈多地域に千年以上前から伝わる福岡県の無形民俗文化財である「早魚（はやま）神事」。11月19日から翌20日にかけて、奈多公民館で「奈多おくんち」の中で開催されます。夜8時から始まり、宇美八幡宮の神楽、地元の小學生による「浦安の舞」などが奉納されます。そして深夜0時頃か



① 神事のクライマックスのひとつ「姿みせ」

ら開催される、「天神尋ね」「献魚包刀式」「ひれ舞い」の一連の部分が早魚神事と呼ばれます。「献魚包刀式」は、かつては早さを競い、勝利した方に漁場の権利が来る競争神事でしたが、現在では古式を伝承する神事として継承されています。開始間近になると公民館は満員となり、6名の青年たちが大きな「塩鯛」を抱えて公民館の舞台に登場。3名1組、2町を代表する彼らが主役ですが、この3人は何と当日の「くじ」で決まります。決定後、先輩の指導を受け、練習を行ない、禊ぎの儀式を終えて本番に臨みます。現在では所作の正しさが優先されますが、過去に関わった先輩諸氏の「落ち着け！」「ぬかるなよー」という檄の声は非常に緊張感があります。特に「立派な大鯛を神に捧げ



② 神楽を舞う子どもたち

いいとこ わじろ 自慢

人に言いたくなる「和自の魅力」を追います！

第三回

県指定無形文化財、豪快な「早魚神事」

和自5校区の地域に関する意外な歴史や、素敵な自然の風景などを追いかけて紹介するこのコーナー。第三回目は福岡の歴史に詳しい東区歴史ガイドボランティア連絡会、愛称「歩歩歩会（さんぽかい）」の古賀偉郎代表に、ちよっと珍しい行事を紹介いただきました。



オススメ！



エリアマップ



教えて！相談員マン

★地域相談員は、コミセンわじろ2Fにいます！受付日は、毎週火～土曜日 朝10:00～夕方6:00（※外出の場合もありますので、ご来館の前にお電話ください！）

相談その3

Q.「やってみたいことがあるんです！」

実際に受けたご相談を元に書いています。



「世界各国の料理をつくる仲間と、料理で交流するイベントがやってみたいんだけど…何から始めたらいいの？企画書とかいるのかな？」by 留学生のグルメさん

「イベントをやりたい、そんな声にもサポートを行なっています！企画書と聞くと難しそうですが、まずは『こんなことを考えています』とお話しにかられませんか？企画書づくりのアイデアが生み出せるかもしれません。」



▲ 今年のチラシ



▲ コミセンわじろでの練習風景、真剣な表情で歌うメンバー

第4回は、「わじろで第九を歌おう！」です。メンバーのみならず、活動の経緯や、活動の面白さを語っていただきました。

まで気が行き届きませんでした。練習を重ねる度にできることが増えていき、本番では一体感や達成感に満たされ感激しました。この気持ちは一緒に歌われるともっとよく感じることができると思います！

昨年から吹奏楽団の演奏に変わり、私達の声が管楽器の音に消されてしまうのではないかと心配していました。しかし、吹奏楽団の柴田先生が私達の声に合わせて楽器の調整や奏法の変更をされ、私達の声と被らない演奏を実現してくださいました。また、微妙なニュアンスまでアレンジしていただき、当初のイメージとは全く違った柔らかな表現の演奏をしていただいたことに感動しました。

それから、ホールに響く声がびったり重なった時には身震いするくらいに気持ち良く、合唱をしていて最高の瞬間です。観客の皆さんにも、その響きと一体感を共感してもらえると嬉しいですね。」



▲ 会場は満員となった昨年の様子



わじろげんきじろし／団体紹介

このコーナーでは、和自5校区などの地域を拠点にして精力的に活動を続けている「元気な」団体さんをご紹介します。

地元和自から東北の支援まで人々の心に響く「歓喜の歌」で広げる「和」と「輪」、そして絆。

第4回——わじろで第九を歌おう！



▲ 実行委員会の皆さん

今後の展開を教えてください。

「毎年、会場いっぱい『歓喜の歌』で『和』と『輪』が広がり、人とひととの絆を強く感じます。皆さんとこの感動を共有することができるといつも感謝しています。また、復興支援曲『花は咲く』は音楽を通して、少しでも東北復興を支えていけたらとの思いから、これからは歌い続けたい曲です。わじろ第九は今後も、ひとりでも多くの方に参加していただき、地域を盛り上げていきたいと思っています。」

【関連イベント】

《演 目》 第5回「わじろで第九を歌おう！」&福岡工業大学吹奏楽団ジョイントコンサート
《日 時》 3月9日(日)
開場13:15 開演14:00
《会 場》 福岡工業大学FITホール
《チケット》 一般1,000円／高・大生500円
中学生以下無料

※前売、当日とも同額です。また中学生以下は整理券が必要です。購入お問合せは実行委員会まで。

【今回の活動団体の情報】

わじろで第九を歌おう！

実行委員会【TEL】070-5814-4009 【FAX】092-607-6297

チケット販売、お問合せなどもこちらまで。コンサートは、お子様連れも歓迎します。

この活動に参加してみたい方へ

◎まずは練習の見学からどうぞ！

コミセンわじろと福岡工業大学で、練習を行なっています。興味のある方はぜひ一度、練習の見学からお越しください。お越しになる場合は、事前に上記の連絡先までご連絡をよろしくお願いいたします。